

環境・エネルギー教室を開催しました

10月25日、東通中学校3年生を対象に環境・エネルギー教室を開催しました。当日は、地球温暖化とエネルギー問題が密接に関わっていることなどを紹介したほか、発電模型の実演や自転車による発電体験を通して、電気が作られるしくみについて理解を深めていただきました。

生徒からは「環境問題について深く考えることができた」「一人一人ができることから行動に移すことが大切だと感じた」「家庭での省エネに取り組んでみたい」などの感想が寄せられました。

当発電所では、次代を担う子どもたちに、身近な電気・エネルギーの学習を通じて、地球環境やエネルギー資源など地球規模の問題について考えてもらえるよう、今後も環境・エネルギー教育の支援活動に取り組んでまいります。



講義に真剣に耳を傾ける生徒



発電することの大変さを感じていただきました

災害発生時のがれき撤去訓練を実施しました

11月6日、がれきに見立てた障害物をホイールローダで撤去する訓練を行いました。

本訓練は、地震などにより発電所構内の道路ががれきや倒木で通行できなくなった場合に、所員自らがホイールローダを操作して障害物を撤去できるようにするために実施しているものです。

当発電所では、今後もさまざまな状況を想定した訓練を繰り返し行い、緊急時の対応力向上に努めてまいります。



周囲の安全を確認しながらがれきに見立てた障害物を撤去

「第51回東通村産業まつり」に電力コーナーを出展しました

10月27日、東通村主催の「第51回東通村産業まつり」に、東京電力ホールディングス㈱と共同で電力コーナーを出展しました。

東通村産業まつりは、東通村における農林水産物の収穫を祝うもので、当日は、新鮮な野菜・海産物・東通牛など村の特産品の販売、サケのつかみ取り、木工教室などが行われ、村内外より多くの来場者で賑わいました。

当発電所では、コーヒーやわたあめの提供を行うとともに、ミニ四駆の特設サーキットコースを設置しレースを楽しんでいただきました。



温かいコーヒーを提供



わたあめコーナーは行列ができるほどの大盛況



発電所員が自作したミニ四駆コーナーはお子さまに大人気

トントウビレッジにおいて能舞を披露していただきました

10月12日、東通原子力発電所PR施設トントウビレッジで開催された「トントウのそば街道&秋まつり2019」において、白糠勇清倶楽会の皆さまに「三番」^{さんぱん}、「信夫」^{しのぶ}、白糠こども会の皆さまから「番楽」^{ばんがく}を披露していただきました。勇壮かつ優美な舞が、訪れた多くの皆さまを魅了しました。



白糠勇清倶楽会の皆さまによる「信夫」



白糠こども会の皆さまによる「番楽」